

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度 第 5 回和泉市健康増進計画・食育推進計画検討委員会
開催日時	令和 7 年 2 月 27 日（木）13 時 30 分～15 時 00 分
開催場所	和泉市コミュニティセンター大集会室
出席者 （敬称略）	【委員】 内藤委員長、中山委員、井上委員、沖田委員、西川委員、早崎委員、市川委員、橋本委員、豆野委員、廣田委員、上栴委員、石橋委員、藤原委員 【事務局】 吉田副市長、子育て健康部：藤原部長 健康づくり推進室：高橋室長、藤原健康増進担当課長、出口総括主幹、川上総括主査、松本総括主査 受託事業者（三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング）：善積、草薙
会議の議題	和泉市健康増進計画・食育推進計画策定に関する事
会議の要旨	1. 開会 2. 議事 （1）前回の振り返り （2）アンケート結果報告書 （3）「第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画」（案） ① パブリックコメント募集結果概要 ② 第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画（案） ③ 資料編 （4）その他 3. 閉会
会議録の 作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の 確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
その他の必要 事項（会議の 公開・非公開、 傍聴人数等）	公開 傍聴人 1 名
審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）	

1. 開会

2. 議事

(1) 前回の振り返り

事務局

前回の振り返り（資料 1-1、資料 1-2）を説明。

委員長

意見・質問がなければ、次の議事へすすむ。

(2) アンケート結果報告書

事務局

アンケート報告書（資料 2）を説明。

委員長

膨大な資料のうち部分的に説明していただいたが、何かご質問等はあるか。

全体として膨大な页数であるが、本編・資料編ともに印刷するのか。

事務局

ホームページにアップする予定である。

委員長

印刷物としては限られた部数ということだ。

他にご意見はないか。ケアレスミス等何か気づかれたところがあれば、連絡をいただきたい。

アンケート報告書については、この案のとおりとさせていただくことで、よいか。

委員（異議なし）

委員長

それでは、議事 3 へすすむ。

(3) 「第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画」（案）

事務局

議事①パブリックコメント募集結果概要、②第 4 次健康都市いずみ 21・食育推進計画（案）、③資料編（資料 3-1、3-2、資料 4、資料 5）を説明

委員長

一度に説明してもらったので、質問の仕方が難しいと思われるかもしれないので、議題の順番に聞いていきたい。

まず、パブリックコメントについての取扱い、解釈の仕方、どのように修正するかの説明についての、ご意見・ご質問はないか。数は多くはないが、多様な意見があり、それについて考え方を理解しながら、市の意見としてまとめたものである。ここに示された市の考え方や表現で問題はないか。

委員

パブリックコメントの内容自体は外部に出るのではなく、参考としてということか。特に食生活改善推進員が出てくるところがあり、どのような扱いになるか。一般市民がご自分で調べたことのご意見ということであり、これが反映されるということではないという認識でよいのか。

事務局

パブリックコメントで皆様からいただいた意見は公開とする。それに対する市の考えについても、資料 3-1 の右側に市の考え方と示しているところも含めて公開する。

委員

「おかずひと皿 50 g」といった内容が、和泉市では大阪府と合わせて「ひと皿 70 g で 1 日 5 皿」と提唱しているので、ちょっと違う。ここでは、入院されていた時のアドバイスと書かれているので、良いということと捉えた。

事務局

ここに書いているご意見・ご提案の概要については、もう少し要約して掲載する場合もある。委員としては、間違った情報が伝わらないかを懸念されていると思う。

委員

ご意見では健康法も書いているので、市としてどのように扱うのか。世の中には健康法等の書籍が多数出ており、市民がそれぞれに傾倒されている一例だと思うが、市としてどのように扱うのかと思った。

委員

管理栄養士として相談に答える時に、「ひと皿 70 g で 1 日 5 皿」摂るようにという表現をしている。細かいことまでは掲載しないという理解でよいのか。

事務局

基本的には市民からいただいた意見は公開する。情報が正しく伝わるような配慮をしないといけないので、市の考え方などで、混乱を招かない記載方法を考えたい。

委員長

関連して確認したい。パブリックコメントで出た意見の中には、公開しづらい内容のものがある場合、和泉市では公開の原則やルールはあるのか。

事務局

市としては透明性の確保も必要なので、パブリックコメントでいただいた意見は原則公開する。掲載したご意見が混乱を招くのではないかと懸念については、留意する。

委員長

今回のことではないが、不適切な表現などがあつた場合、別の表現に改める等はあるのか。パブリックコメントは誰が意見を出したか特定はされているのか。

事務局

名前の公表はない。パブリックコメントは、きちんと名前をいただいた上での意見だが、公開はしない。

内容については原則公開であるが、不適切な内容等については調整したうえでの対応としている。

委員長

公開にあたって、場合によっては表現を変える場合がある、あるいは公開されない場合があるということは、予めパブリックコメントを求める時に一文等を入れているのか。意見をどのように取り扱うのかを予め周知しているのか。

事務局

パブリックコメント募集の段階で明記しており、周知している。

委員

資料4ではアンケート結果についての考察が入っている。P.40②生活習慣病予防・改善のための食生活の実践で、「いつも気をつけて実践している」が11.5%、「気をつけて実践していない」が8.5%となり、食生活に気をつけていない人の割合は半数近くとなっています。」とあるので、気をつけている人はそれよりも少ないのかと思うが、53.8%が「気をつけている」となっている。気をつけるのが当然なのに気をつけない人が半数近くいるというニュアンスを入れているのでは、と感じた。他のところでは淡々と数値の考察をしているのに、ここで「このまま気をつけていない人の割合は半数近くとなっています。」で終わるのはどうか、感情が入っているように思う。「気をつけている人は53.8%あり、気をつけていない人は半数近くになっている」というように、すれぽうか。

P55④自治会、町会、婦人会、老人クラブ、子ども会、PTA等の地域活動への参加状況と幸福度・健康状態で、「大いに幸せ」、「ある程度幸せ」を足しており、「どちらかという幸せ」は除いている。P54では「どちらかという強い方だと思う」を強い方に入れている。P55④でも「どちらかという幸せ」を含めた合計にした方が良いのではないか。

P56⑤ ボランティア・NP0・市民活動への参加状況と幸福度・健康状態でも「どちらかという幸せ」は入っていないが、「参加していない人」の幸せの割合が案外高いので、意図的に外したのではと思う。

委員長

P.40②については、当然気をつけるべきところ、気をつけていない人が多いということから、気をつけていない人のことを強調して記述しているが、気をつけている人も半数以上いるので公平ではないというご意見だが、どうか。

事務局

表記の仕方については、データに基づいて正確に伝わるように、改めたい。ご指摘いただいた部分について検討する。

委員長

統計の数字はこの通りであるが、それをどう解釈してどのようにしていくかは、結構難しい。説明するには時間がかかるので、事務局の方で調整が必要だと思う。

5択や6択で聞いているところは、項目によって取扱いが違う、不統一なところがあることについては、どうか。これも何を言いたいのか、問題視するかによる。特に違和感がなければこのままで、質問があれば個々に対応して答えるというやり方もある。表現を変える必要があるかどうか。

委員

「どちらかという」と入れても、少し数字は変わるが、結論的には一緒であるが、前からの流

れでいくと「どちらかという」とが入るのではないか。

事務局（副市長）

調査会社を経営していたことがあるので、その見地からコメントすると、いろんな調査の選択肢の設け方があり、例えば「特にそう思う」「そう思う」「そう思わない」「特にそう思わない」の4択、「どちらかという」とを入れた6択、「どちらともいえない」という中間肢を入れるなどあり、どれが正解というわけではなく、調査主体の考え方による。和泉市の調査の課題としては、統一性がないということ。ひとつの計画書の中でも統一性がないし、違う計画とも統一性がないのは課題と思っている。和泉市としての型が必要と考えている。今日、明日に改まるものではないので、長期的な課題として考えていかなければならないと思う。

分析については、私の場合、6段階なら上下2段階ならこうなる、上下3段階ならこうなると比較した集計分析をしていたが、わざと中間肢を設けている場合は、除外して、上下2ボックスで比較する場合もある。集計の仕方もある形があるので、ストーリー上、ネガティブな方を強調しなければいけない場合もあり、ポジティブな方を強調しなければいけない場合もある。それは仕方がないが、それ以外では、和泉市の型がないと、全体として見た場合は分かりづらい。和泉市政における調査の課題と位置づけさせていただきたい。ご指摘をいただいたので、統一化・標準化に向けてあらためて頑張って参りたい。

委員長

専門家からのコメントなので大事に受け止めたい。できる範囲で統一した表現に修正していただければ良いと思う。例えば、P56では「どちらかという」で大きく2分し、そのうえでもっと高めたいのであれば、方向性によってまだ不十分であるという伝え方もある。できる範囲で検討していただければと思う。数字は間違いがないので、もっと増やしたいのか、これでは不十分である等は、追記すればよいのではと思うので、検討していただきたい。

委員

P59（13）和泉市の行政情報などの入手方法について、「和泉市公式SNS」は女性の30歳未満、男性の40歳未満・・・で多くなっています。」とあるが、女性の30歳未満は39.7%、30歳～39歳は45.0%と多くなっている。男性は、40歳未満が多いというよりは30歳未満が多い。上の表が男性、下の表が女性と見間違えてないか。

委員

女性では、30歳未満の1位がSNSで2位が広報、30歳～39歳では1位が広報で2位がSNSである。

委員長

各世代で何が多いかという表現で分かりやすいようにする必要がある。30歳未満は母数が女性58名だが男性は18名なので、30歳未満で議論するのは、少ししんどい。40歳未満で区切った方が良いかと思う。数字はこのまま出してよいが、表現は40歳未満にする方が良い。世代ごとで何を情報ソースとして採用しているかという、わかりやすい表現にした方が良い。

委員

資料3-1 パブコメ募集結果概要のNO.2のご意見・ご提案に「給食提供側の採算等、無理のある

部分は市が補填し、」とあるが、現場では物価高騰の折、栄養士が栄養価を保つために食材の工夫等をしている。それに対する市の考え方としては、この点も含めて、「学校給食の充実に努めて参ります」と書かれていると思うが、この提案に対して正対した答えが含まれていても良いのではないか。表現の仕方が難しいところもあるが、検討していただきたい。 No.1 のサンサンプルの表記は「サン燦プール」であるので訂正していただきたい。

事務局

修正させていただく。

委員長

パブリックコメントは長文で頂いているが、報告書にどのように反映されるかは、資料 3-2 に要約されているので、これでよい。

委員

パブリックコメントの No5 で、YouTube 名が書いているので、市が公表されるのであれば、宣伝につながらないか懸念する。直接掲載するのはいかがなものか。

事務局

パブリックコメントのご意見・ご提案の概要については、ご審議いただくためにそのまま資料として出しているが、公開の際は、要点を絞った形で表記するので、その点も配慮する。

委員

資料 4 の P1 「健康寿命¹」の注釈の数字がぱっと見て何かわからない、印刷の汚れのように見えたり、乗数のように見えたりするので、できるならば「注釈 1」などに変えてほしい。

事務局

見やすいように工夫したい。

委員長

資料 3-2 パブリックコメント後の修正一覧の NO.4 で「絶対」という表現はきついというのは、私もそのように思う。確率的に喫煙者の方が健康に悪い影響があるのは間違いないが、オールオアナッシングではない。また、「20 歳未満での喫煙は絶対にやめましょう」と書かれると、逆に 20 歳以降は良いのかと受け止められないかという懸念はある。健康影響は悪いことをしっかりと伝えた上で、20 歳未満は法律で禁じられているので絶対やめましょうというのなら、良いと思う。ご検討いただきたい。

事務局

これが 86 ページの記載に当たるので、ご指摘いただいた内容に応じて少し文言を付け加えたいと思う。言葉につきましては、事務局の方で検討させていただきたい。今回が最後の検討委員会となるので、後日、委員長や副委員長と協議をさせていただきたいがいかがか。

委員長

20 歳未満の喫煙は絶対にやめましょうという場合、喫煙していることが前提でそれを止めましょうという禁煙のメッセージになってないかということもある。タバコには近づかない、喫煙習慣をつけないようにしようという、防煙的なメッセージの方が良いのではないか。ひと工夫していただきたい。

委員

資料4のP3「4. 計画の策定方針」で横ぐしと縦ぐしと書かれているが、この意味、何を指しているかが分かりにくいので、分かりやすい表記にしていきたい。

委員長

作っている方は当たり前として分かっているが、初めてみる人には何のことかと思う。市民で初めて見た人の感覚を考えながら解説を入れる等、検討していただきたい。

委員

P71の基本目標【解説】の☆3つ目、(特に女性はライフステージごとに心身の状態が大きく変化すること、・・・)とあるが、「こと」で終わって良いのか。「変化するので・・・」と続けるか、「こと」を取り、「。」とするか、「変化したり」など続けるか。文章として不十分である。

次の矢印から下の長期アウトカムの「送れている」という表現も少し引っかかる人もいると思うが、調べたらこれでもいい。「送ることができている」にした方が良いが、次の頁P72のアウトカムでは「送ることができている」となっていたので、そちらが出来ていれば、間違いではないのでこちらはこのままでも良いかと思う。「送れている」は西の地方では言うが、本当はあまり言わない。

委員長

表現として統一等を考えて、ご検討いただければと思う。

他にご意見等はないか。

再確認されてもし発見すれば、速やかに事務局にご連絡いただければありがたい。

本日いただいたご意見を踏まえた計画書案を作成し、私と副委員長で確認し、最終案として承認したいが、そのやり方でよろしいか。

委員（異議なし）

事務局

委員会終了後、お気づきの点等があれば、3月7日（金）までにご連絡いただけるとありがたい。

委員長

暫定案だが、第4次健康都市いずみ21・食育推進計画案を資料4, 5の通りで、承認したいがよろしいか。承認の方は挙手願いたい。

委員（全員、承諾）

委員長

続いて、次の議事へすすむ。

(4) その他

事務局

今後のスケジュールについて。3月に議会報告を予定している。4月に広報、市のホームページに掲載し、いずみメールで市民等への周知、情報発信を行う予定。7月頃に第1回目の健康都市いずみ21食育推進会議を開催し、具体的な取組の計画を報告・共有し、取組の推進を図る。計画の施策に基づき市が具体的に進める内容を、行動計画として整備し、庁内連絡会議で推進や調整を図り

ながら進めていく。8月には計画の概要版を広報に織り込み、全戸配布する予定である。

委員長

計画は暫定案ではあるが完成したので、これに基づいて計画を実行に移す段階に入る。最初の計画をその通りにやってみてうまくいくこともあるが、新たな課題や、やってみてうまく反応しない、不十分なことも多々ある。それに関してはPDCAサイクルをまずやってみて、評価をし、また新たな改善案を考えるという形で回していき、問題を解決し、新たな問題に対応していくのが一般的なやり方である。特に長期的な計画の場合、これが有効になる。突然の課題に対しては、これだけでは不十分と最近は言われている。PDCAサイクルに関して、どのような頻度で行うかは市から説明があると思うが、計画の進捗状況を確認しながら目標に向かって進めていくことになるので、今後とも、皆様よろしくお願ひしたい。

全体を通して感じたことだが、第3次計画策定の際も参加させていただいたが、その時と比較するとよりやる気が増していると感じた。計画を現実化することができていない自治体も多いため、今回皆様と策定した計画が目標に向かって上手く推進されるよう、ご協力いただくとともに、意見を述べていただきたいと考えている。行政は計画策定を仕事として行っているが、ある程度市への愛着がないと上手くいかないと考えており、今回はその熱意が感じられた。市民と市が一緒になって進めればよくなる成功事例が多いため、皆様も一緒になって頑張ってもらいたい。コメントは以上とさせていただきます。これをもって、第5回検討委員会を終了とする。委員の皆様には多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

事務局（副市長）

本日も真摯なご議論をいただきありがとうございました。このあと市長に報告に上がるが、市長に代わってご挨拶をさせていただく。まずは、パブリックコメントの公開の件について様々なご議論をいただいた。結論的には、基本的に公開となるが、和泉市の情報公開条例第6条に基づいて、公開しないこともできる決まりになっており、本日出た公開しない方がいいというご意見については、おそらくそれに抵触して公開しなくてもよいということになると考えるので、検討して適切に公開していきたいと考える。次に、ご意見いただいた学校給食の充実という表現についてや、委員長からの「絶対に」という表現に対するご意見、「横ぐし」「縦ぐし」など、詳細なご指摘をいただいた。もう一度数字のチェックと文言のチェックはさせていただきたいと思う。もう一つしくみとして、この計画を年に1度点検するという形になっているため、計画書の修正期限を越えても、日本語、表現、数字についてはチェックを行い、適宜修正していきたいと考える。

今年度は計画策定の当たり年となっており、各部局で並行的に計画策定を進めている。健康・食育計画の内容が素晴らしいのは委員の皆様のご協力もあるが、会議の運営を担っている健康づくり推進室の準備事務も他の部局等と比較して抜きん出てすばらしかった。資料作りについても、他の部局に健康づくり推進室を見習うよう指導を行っている。これも委員の皆様からのご支援の賜物という理解をしている。最後に、計画を実施することが社会をよくすることにつながる。皆様に検討いただいた内容を市長に市民の代表として決定してもらい、我々は進行管理をしっかりとしながら、実現を果たしていく。また、ウェルビーイングの根幹的な施策として、ウェルビーイング推進計画を別途定めつつある。ウェルビーイングの重点施策についても見える化していく計画であるので、そこに対するご指導もよろしくお願ひしたい。委員長から余りあるお言葉をいただき、感謝してい

る。引き続き和泉市政についてご指導いただくことをお願いしたい。以上をもって、私からの挨拶とさせていただきます。

3. 閉会

事務局

以上をもって、第5回検討委員会を終了する。

以上